

戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第3期
「豊かな食が提供される持続可能なフードチェーンの構築」
推進委員会（第2回） 議事要旨

1. 日時 令6年3月29日（金） 10:00～12:00

2. 場所 中央合同庁舎第8号館 409会議室及びWeb 会議システム

3. 出席者（敬称略）

<委員長/PD>

松本 英三 株式会社J-オイルミルズ 取締役常務執行役員 CTO

<サブPD>

門脇 光一 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 理事

種村 菜奈枝 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所

国立健康・栄養研究所 室長

大西 茂志 全国農業協同組合連合会 テクニカルアドバイザー

南部 哲宏 株式会社 博報堂 ビジネスプロデューサー

<関係府省>

内田 雄一郎 総務省 情報流通行政局地域通信振興課 デジタル経済推進室長

高江 慎一 厚生労働省 大臣官房厚生科学課 研究企画官

田島 諒子 厚生労働省 健康局健康課栄養指導室 係長

後藤 裕 文部科学省 研究開発局環境エネルギー課 課長補佐

土肥 広和 文部科学省 研究開発局海洋地球課 海洋資源技術開発係

羽子田 知子 農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究企画課長

今西 孝 農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究企画課 課長補佐

中田 裕也 農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究企画課 係長

草場 新之助 農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究統括官

閑念 磨聡 農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究調整官

桂 真昭 農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究調整官

新井 啓太 農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究統括官室 研究統括官付

佐々木 敏晃 農林水産省 農産局 穀物課 課長補佐

森 賢 農林水産省 水産庁増殖推進部 参事官

尾崎 照遵 農林水産省 水産庁増殖推進部 研究指導課 研究管理官

小林 うらら 経済産業省 商務情報政策局 商務サービスグループ ヘルスケア産業課 係員

田中 真人 経済産業省 産業技術環境局 研究開発課 研究開発調整官

重村 浩之 国土交通省 国土技術政策総合研究所下水道研究部 下水処理研究室長

清家 裕 環境省 大臣官房環境保健部 環境保健企画管理課（（兼）食と環境チーム）
課長補佐
永森 一暢 環境省 大臣官房総合政策課 環境研究技術室 室長補佐

<研究推進法人>

諏訪部 和幸 生物系特定産業技術研究支援センター事業推進部長
高橋 賛 生物系特定産業技術研究支援センター事業推進部戦略的研究開発課長

<内閣府>

川上 大輔 内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局審議官
梅原 徹也 内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 SIP/BRIDGE 総括参事官

<内閣府（事務局）>

佐藤 大輔 内閣府科学技術・イノベーション推進事務局企画官（バイオ担当）

オブザーバ

<有識者>

加藤 裕一 株式会社キャクシヨク 代表取締役

4. 議題

- | | |
|--------------------------------|-------|
| (1) 推進委員会の設置要領の変更について | 【非公開】 |
| (2) 令和5年度評価委員会の結果及び次年度予算について | 【非公開】 |
| (3) 令和6年度研究計画について | 【非公開】 |
| (4) SIP 成果の社会実装に向けた関係府省の取組について | 【非公開】 |

5. 配布資料

- | | | |
|-----|--|-------|
| 資料1 | 第2回推進委員会出席者 | 【非公開】 |
| 資料2 | 戦略的イノベーション創造プログラム第3期（SIP第3期）
「豊かな食が提供される持続可能なフードチェーンの構築」推進
委員会の設置について変更案 | |
| 資料3 | 研究開発計画の全体概要と令和5年度成果について | 【非公開】 |
| 資料4 | 令和5年度評価委員会の結果及び次年度予算について | 【非公開】 |
| 資料5 | 令和6年度研究計画について | 【非公開】 |
| 資料6 | 令和6年度研究開発における研究コンソーシアムへの要望事項 | 【非公開】 |
| 資料7 | データ連携に係るワーキンググループ会議について | 【非公開】 |
| 資料8 | 大豆規格の現状と課題について | |
| 資料9 | 肥料成分を保証可能な新たな公定規格(菌体りん酸肥料)の創設について | |

6. 議事要旨

議題（１）について、資料２に基づき、内閣府から、推進委員会の構成員に量子コンピューターに関する制度等を所管する関係省庁を追加することを説明し、推進委員会として了承した。

議題（２）について、資料３、４に基づき、松本PDから課題の実施内容、達成目標、マネジメント体制、進捗状況、令和６年度予算配分について説明した。

議題（３）について、資料５、６に基づき、松本PDから令和６年度の研究計画について説明し、その後資料７に基づき、門脇サブPDからデータ連携に係るワーキンググループ会議での検討事項について説明した。これらの内容について推進委員会として了承した。

議題（４）について、資料８、９に基づき、農林水産省よりSIP「豊かな食が提供される持続可能なフードチェーンの構築」の社会実装に向けた取り組みとして、大豆規格の現状と課題及び、肥料成分を保証可能な新たな公定規格(菌体りん酸肥料)の創設について説明し、大豆規格の見直しに関する意見交換を行った。

松本PDより、本日の意見交換を踏まえて、社会実装に向けた戦略及び研究開発計画の改定を今後行うため、関係府省には具体的な改定内容を改めて確認頂きたいと説明をした。

以上